

コミュかるショップがリフレッシュオープン!!

10月7日(月)～9日(水)は記念フェアを実施
なみすけ&ナミーも応援

杉並区役所1階にあるコミュかるショップが、リフレッシュオープンします。「区内で一番“すぎなみ”が集まる場所」という新コンセプトを掲げ、レイアウトの変更や、商品の見直しを行いました。

交流自治体の人気商品やなみすけ関連グッズの販売はもちろん、杉並区内の名物商品も販売。区内の情報もこれまで以上に発信していきます。

10月7日～9日は、リフレッシュを記念して「コミュかるフェア」を開催。区内の店舗と協力し、日替わりで数量限定商品を販売予定です。なみすけとナミーも応援に駆けつけてくれます。



区役所内にあるコミュかるショップ



コミュかるショップオリジナルなみすけロゴ入りTシャツ好評発売中!

コミュかるショップ営業時間：月～金 9:00～16:30 問合せ：コミュかるショップ Tel: 03-3312-2111 (区役所代表)



交流協会の会員になりませんか?

杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

年会費

- ・個人会員 1,000円/年 (9月以降入会の場合は初年度に限り500円)
- ・法人会員 20,000円/年

会員期間

入会の月から3月31日まで (当年度末)

会員特典

- ① イベントの情報や交流に関する情報紙 [交流ニュース (年4回発行)・NEWS LETTER (年8回発行) など]をお届けします。
- ② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。
- ③ イベント参加費に会員割引があります。

申込方法

入会希望の方は杉並区交流協会まで電話・ハガキ・Fax・E-mailにより申込書類をご請求ください。

Event Information from SACE 交流イベント情報

◆ 交流協会主催イベント ◆

● 外国人のための無料専門家相談会

◇日 時：2014年1月18日(土) 13:00～16:00
◇場 所：あんさんぶる荻窪 (荻窪5-15-13)

● ジャパン・デイ

◇日 時：2014年2月15日(土) 13:00～17:00
◇場 所：杉並区立産業商工会館 (阿佐谷南3-2-19)

● 日本語スピーチ大会

◇日 時：2014年3月1日(土) 13:30～17:00
◇場 所：座・高円寺 (高円寺北2-1-2)

◆ 国内交流自治体物産販売 ◆

● 小千谷フェア

新潟県小千谷市の新鮮野菜や魚沼産コシヒカリなどの販売

◇日 時：10月12日(土)・12月23日(月) 11:00～13:30
◇場 所：小千谷学生寮駐車場 (井草4-16-23)

● 吾妻の朝市

群馬県東吾妻町の新鮮な農産物の販売
◇日 時：10月24日(木)・11月14日(木)・12月26日(木) 10:00～13:00
◇場 所：区役所中杉通り側入口前

● 名寄市の秋の観光物産展

◇日 時：10月25日(金) 11:00～19:00
10月26日(土) 10:00～16:00
◇場 所：区役所青梅街道側入口前

● すぎなみフェスタ2013・交流自治体合同物産展

◇日 時：11月 9日(土) 10:00～15:30
11月10日(日) 10:00～14:30

◇場 所：桃井原っぱ公園 (桃井3-8-1) 西荻地域区民センター(桃井4-3-2)

● 小千谷ふるさと市場

新潟県小千谷市の特産品販売
◇日 時：12月24日(火) 10:00～14:00
◇場 所：区役所中杉通り側入口前
いずれも雨天実施。売り切れ次第終了となります。マイバッグ(買い物袋)をご持参ください。

問合せ：区役所文化・交流課交流推進担当
Tel: 03-3312-2111 (代表)

「交流ニュース」へのご意見・ご要望・メッセージなどをお寄せください。お待ちしております。



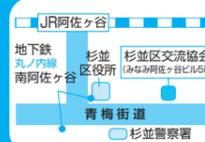
すぎなみ交流ニュース

第30号

2013年10月

Suginami Cultural Exchange News

수기나미 교류 소식
杉並的交流消息



会員になりませんか?
～詳細は裏表紙～



◆発行:杉並区交流協会 [Suginami Association for Cultural Exchange (SACE)]

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階 [Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail:info@suginami-kouryu.org

<http://www.suginami-kouryu.org/>

◆年4回発行◆協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。

この印刷物は古紙配合率40%の再生紙を使用しています。



日本ポルトガル友好470周年記念 海外文化セミナー

ポルトガル

参加者募集!

ポルトガルは、日本にとってヨーロッパの中で長い友好の歴史を持つ国の一つです。今年、1543年にポルトガル人によって日本に鉄砲が伝来して470年になります。日本に伝来したポルトガル文化は南蛮文化と呼ばれ、テンプラやボタン、タバコなどポルトガル語が日本語になった

ものが多くあります。

今回の海外文化セミナーはポルトガルをテーマに、ポルトガルと日本の交流の歴史とポルトガル文化を様々な形で伝えるイベントを開催します。

南欧ポルトガルの魅力を知るイベントに参加しませんか。

- 日時** 11月30日(土) 11:00～16:00
会場 杉並区立産業商工会館 (阿佐谷南3-2-19)
内容 ①講演とコンサート 13:00～15:00
参加費 700円
※事前申込み制。先着順。お土産付
・講演 ポルトガルの文豪モラエス
～「美しい日本」をこよなく愛した異邦人～
講師：桑原信義 (徳島日本ポルトガル協会会長)
・哀愁のポルトガル音楽 ファドコンサート
演奏：高柳卓也 (歌&ギター)
飯泉昌宏 (ポルトガルギター)

- ②ポルトガル物産販売や観光紹介
11:00～16:00 ※無料。入場自由
・ポルトガルワイン、南蛮菓子の試飲/試食・販売
・写真やパネル展示などによる文化紹介

問合せ 杉並区交流協会 Tel: 03-5378-8833

申込み ①に参加希望の方は、メール・Faxまたはハガキに住所、氏名(ふりがな)、性別、電話番号(あればFax番号)を記載の上、杉並区交流協会までお送りください。



高柳卓也さん

今年も一大イベント開催!

すぎなみフェスタ2013

昨年10月に開催された「杉並区80周年まつり」は、延べ9万人超の来場者を集めて大盛況でしたが、今年は新たに“人と人、地域と地域をつなぎ、杉並を元気に”を基本理念に「すぎなみフェスタ2013」として、会場を2カ所に増やし、内容も更に充実させたイベントが開催されますので、奮ってご参加ください。杉並区交流協会もテントを出店します。(入場無料。当日会場に直接お越しください。)

- 【日時】** 11月 9日(土) 10:00～15:30
10日(日) 10:00～14:30
【場所】 ①桃井原っぱ公園 (桃井3-8-1)
②西荻地域区民センター・勤労福祉会館 (桃井4-3-2) 両会場間は徒歩で約5分
【内容】 ①桃井原っぱ公園
特設ステージ
吹奏楽、舞踊、ダンス、お笑いライブ、キャラクター大集合・獣電戦隊キョウリュウジャー・仮面ライダーショーなどを予定

フィールドイベント

キャラクターとのふれあい、エアートランポリン「ふわふわ」、起震車体験、消防車両展示などを予定

テント企画(総テント数:約100張を予定)

グルメ、復興支援、交流自治体物産展、農業祭、パン祭り、スイーツフェア、インターナショナルカフェ、NPOや町会・自治会の出展・出店などを予定

②西荻地域区民センター・勤労福祉会館

コンサート、講演会、マジックショー、すぎなみ産業フェア、南伊豆の干物販売、スタンプリリー抽選会などを予定

【問合せ】

すぎなみフェスタ実行委員会事務局 (区役所地域課地域活性化担当)
Tel: 03-5307-0380 (代表)



①会場となる「桃井原っぱ公園」/一面に原っぱが広がる区立公園

すぎなみフェスタHP <http://sugifex.com>

まるごと台湾フェア開催



テープカットでフェア開幕

6月29日(土) 杉並区立産業商工会館で「まるごと台湾フェア」が開催されました。東日本大震災の時に、台湾の人たちがいち早く被災者支援のための募金活動を開始し、230億円もの義援金を送ってくださったことをご記憶の方も多いことでしょう。これは国別で最高額でした。

杉並区と台湾は中学生の野球交流を重ねています。2011年12月に杉並区と南相馬市の中学生軟式野球チームが台湾に招待され、台北近郊の中学生チームと親善試合を行い、昨年10月には、台北市と南相馬市の中学生が杉並区区制施行80周年記念事業で杉並区を訪れ親善野球大会を行いました。今年も12月に台北で親善試合が行われる予定です。今回のフェアは、こうした台湾との交流関係を広く区民の皆さまにお知らせしよう企画されました。

11時に始まった開会式では、羅坤燦台北駐日経済文化代表処副代表と田中良杉並区長のご挨拶があり、それに続いて野球交流に参加した中学生らも交えたテープカット。駐車場では台湾屋台料理やタピオカドリンクなどを販売し、展示室では台湾弁当や台湾ビール、アクセサリなどの雑貨販売、観光資料の配布や写真パネル展、台湾原住民の衣装展示などを行い、また、別室では台湾茶の紹介や台北文化センターの書籍の閲覧を楽しんでいただきました。いずれも大盛況で、延べ参加者は約1800名。お弁当やマンゴーはすぐに売り切れてしまいました。



クリス・ストロール先生の

「英語コミュニケーション講座」レポート

6月3日(月)から始まった「英語コミュニケーション講座」の後半3回の授業レポートです。(前半2回は「すぎなみ交流ニュース第29号」に掲載)月曜日の午後、交流協会の多目的スペースで参加者21名で行われました。梅雨の気候の中、ほとんどの方が皆勤で勉強。「英語」を使った日常のやりとりを通して、コミュニケーションの楽しさをまた一つ発見できたのではと思いました。

第3回 (6/17) 初回より、日頃の生活の中でのやりとりが続きます。講座に参加しているメンバーの日頃の行動から、「～週/月に…回の何かのスポーツをする」といった文言の使い方をベースに様々なシチュエーションに発展していきました。これは、実際のはさっておき、理想的なシーンを想像したりと面白く、授業が沸いたテーマでした。

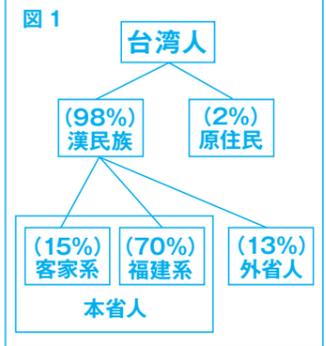
第4回 (6/24) Time Expressions (時間の表現)の入り口には、まず前置詞のことがあります。少々文法的な感じもしましたが、曜日や季節につく前置詞は、先生のオリジナルプリントでゲームのように復習しました。その後、時計の読み方に進みましたが、30分を越えた時間や、30分、15分の英語ならではの言い回しなど改めて学び懐かしい思いもしました。また、反復して練習しながら、言葉の壁を越える一つの方法はやはり何度も同じ言葉を繰り返し、使うということだと、改めて納得した次第です。

第5回 (7/1) 旅行に関する会話について、疑問詞を用いてより内容を具体的にしていって流れて最後の授業は進んでいきました。そして、その旅はどうだったかと問われて答えなければなりません。こういった自分の意見や意志や感想をきちんと答えるのがコミュニケーションの大切なことだと気付かされました。また、最後にクリス先生がプリントで故郷カナダについてのクイズを10項目出題。そこからカナダの自然や文化にもチョッピリふれることができました。5回の授業でしたが、久しぶりに英語を使う雰囲気を楽しむことができました。(広報部 Y)

午後は、台湾貿易センター東京事務所所長陳英顕氏による「台湾の今」と題した講演がありました。専門の経済関係が中心でしたが、台湾の歴史を背景にしたエスニシティや言語の多様性に関する四大語族(図1)の説明もあり、参加者からは「台湾のことがより身近になった」「台湾の現状が分かり勉強になった」などの感想が寄せられました。陳氏は、まとめとして、日本企業は総合的管理能力、ブランド力や技術力があり、一方、台湾企業にはスピード感と国際性があるので、日台の企業はベストパートナーとして、アジアの新規マーケット開拓などで今後も協力し合うべきだと強調されました。



陳英顕氏



最後は山梨台湾総会原住民舞踊団による原住民の楽曲や舞踊を楽しみました。「台湾の音楽や踊りの明るさにおどろいた」「明日への希望が出てくる」などの感想が寄せられ、また、国士館大学学生チームによる若さいっぱいの「ヨサコイ」で会場のムードは最高潮に。「台湾の方々にはこれからも親しい隣人でいていただきたいし、私たちも良き隣人でありたい」とのコメントが印象的でした。(広報部 T)



ふれあいの場から 第4回

ネパールと日本のかけはしに



私の思い
今後、自然に国際交流ができるようなコミュニティをつくりあげていきたいです!

8月22日(木)に日本初となるネパール人のための「エベレストインターナショナルスクール」と英語サークル「サニーサイドアップ」の子どもたちによる交流会がすぎなみNPO支援センター研修室で開催されました。サニーサイドアップを主宰しているのは、杉並区交流協会企画運営委員の今井千夏さんです。今井さんから、このイベントの主旨などについてお話を伺いました。

●なぜこのような会を企画しましたか?

私はアメリカ、テキサスの大学を卒業しアメリカで仕事をしておりました。在学中には大学初の日本フェスティバルを開き300名ほど動員したり、地元の小学校で日本文化プログラムと称して文化交流を促すような活動をしてきました。それらの経験により、日本でも自然な環境の中で国際交流・文化交流ができたという思いを持ち続けてきました。そして、それは多くの日本人の生徒さんたちも求めていることだと感じていました。きちんと教育的プログラムばかり詰め込まずに、ゆるい形で楽しみながら外国人の同年代の友達と触れ合ってほしいとも願っておりました。そして、今年、阿佐ヶ谷にネパールの子どものための学校ができたということを知り、学校に問い合わせ、校長先生と意気投合したため着々と準備をしてきました。

●参加者はどのような構成だったのでしょうか。

エベレストインターナショナルスクールからは幼稚部に所属する11名の子どもたち、サニーサイドアップからは来年少幼稚園に上がる10名の子どもたちの合計21名が参加しました。その他に子どもたちのお母様たち、校長先生と幼稚部担任の先生、それから交流協会からも3名が見学にこられました。

●準備はうまくいきましたか?

エベレストインターナショナルスクールの校長先生

とミーティングを重ね、私の英語サークルで使用している音楽のCDも購入していただき、日本人とネパール人の子どもたちが一緒に自然に楽しめるように工夫して実際に一緒に歌ったりしてもらいました。子どもたちは、同じ歌をそれぞれの言語で聞くことを通じて、お互いの国の雰囲気を感じ取れたと思っています。

●今回のイベントは具体的にはどのような交流会だったのでしょうか。

主に、私が英語レッスン、ネパール人と日本人の子どもたちからそれぞれ歌の発表、そして最後にペアになって日本人のお母様にリードしていただき、新聞紙で兜をつくりお持ち帰りしていただきました。

交流は簡単なようですが、どうしてもそれぞれのグループで

固まってしまうので、どのように分け隔てなく交流できるかということと、またお互いの文化を感じられるようにとプログラムを組んでみました。子どもたちは、最初は緊張していましたが、英語の歌や読み聞かせをする中でだんだん打ち解けて、一緒に絵本に触ったり、発話したり、英語の歌に合わせて体を動かしたりしていました。London Bridge Is Falling Downの曲でも、皆が入り乱れて楽しんでいました。一番興奮したのはパラシュートを使ったアクティビティで、高らかな歓声が上がっていました。

お互いの歌の発表では、まだ2~4歳の子どもたちがみんな一生懸命に歌う姿がとても微笑ましく、そしてこのような小さい時から色々なバックグラウンドの友達と触れ合うことはとても大事だと感じました。



●今後もこのようなイベントを開催していく予定ですか。

はい、12月19日にもう少し大きな形での交流イベントを考えています。今回は、子どもの参加者が20名前後でしたが、その倍以上の子どもたちを集めて交流ができればよいと思っております。私のサークルにとどまらず近隣の子どもたちにもぜひ参加してほしいです。

今回は、今井さんが得意な英語を活かしてネパールと日本の子どもたちとの交流会を実現させました。杉並区交流協会の会員の皆さまもそれぞれ得意な分野をお持ちのことでしょう。交流協会がそれらを活かした多様な自主企画が次々と生まれてくる場になり、交流のすそ野が広がっていくこと、イベントを実現する過程で多様なネットワークが生まれることが大切ではないかと、子どもたちのほじける笑顔を見ながら感じました(交流協会 I&T)。

